

鹿児島県
高齢者施設における感染防止研修
2022年10月作成

新型コロナウイルス施設内発生における 継続サービスについて

疫学評価と組織運営

鹿児島大学病院 感染制御部

川村 英樹



高齢者施設等における感染者発生対応マニュアル

- ①標準予防策を再確認しましょう。
- ① 必要な个人防护具が揃っているか、適切な手順で着脱できるか確認しましょう。
- ② 必要な資材（ゴミ箱（陽性者の廃棄物の処理方法の確認）・消毒液・検査キット）を確認しましょう。



- ③ 陽性者を隔離しましょう。
- ④ 陽性者、濃厚接触者のリストアップをしましょう。
- ⑤ 施設内でのゾーニング（区画分け）を考えましょう。

施設における感染対策
の基本と準備

初動における感染対策の強化



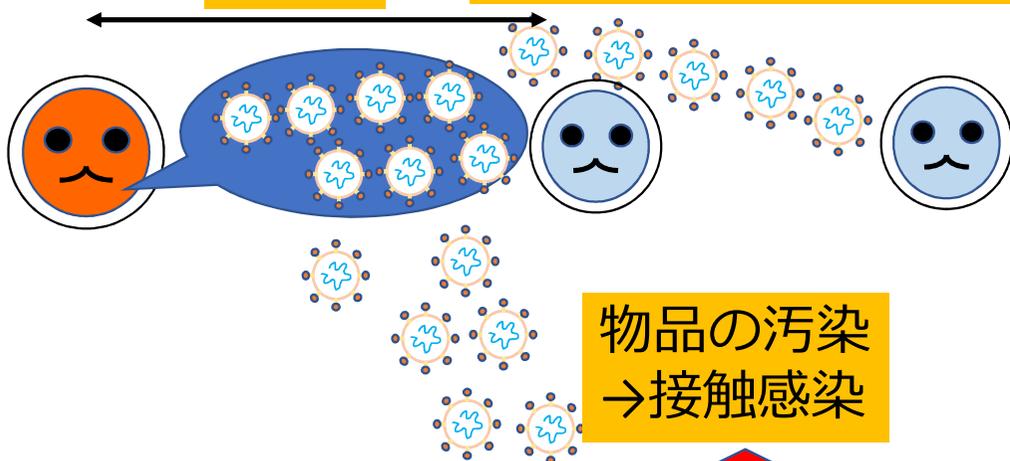
感染経路

マスク・身体的距離

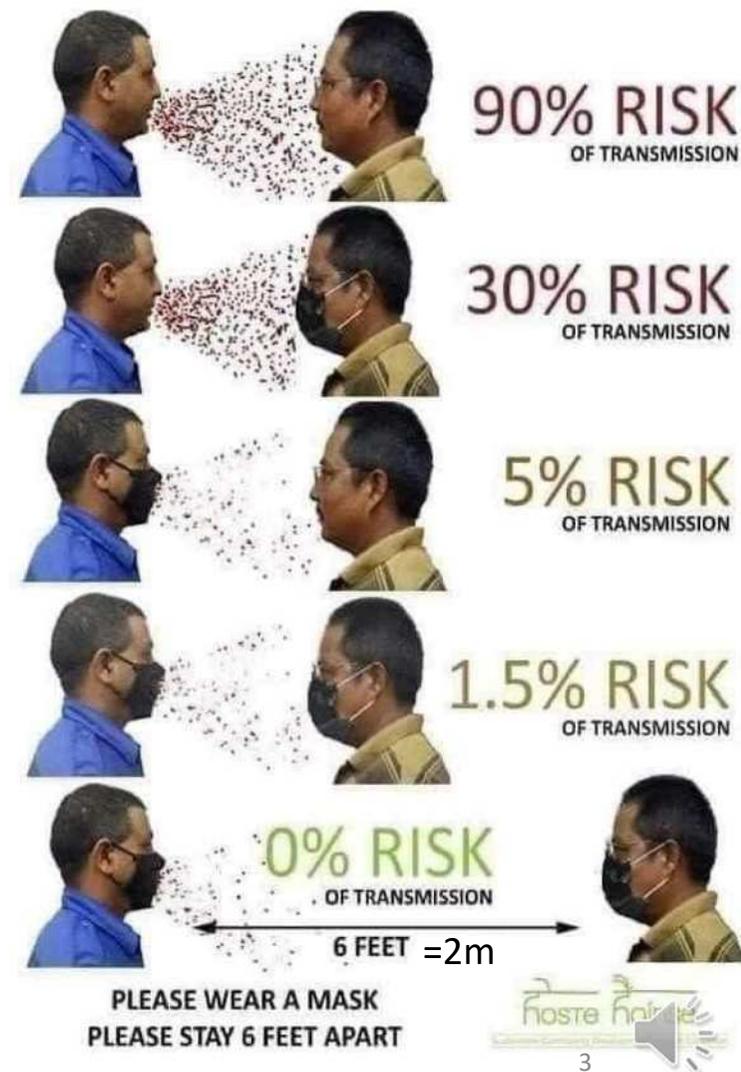
換気

飛沫感染
1~2m

エアロゾル感染
空気中をただよう微小粒子を吸入

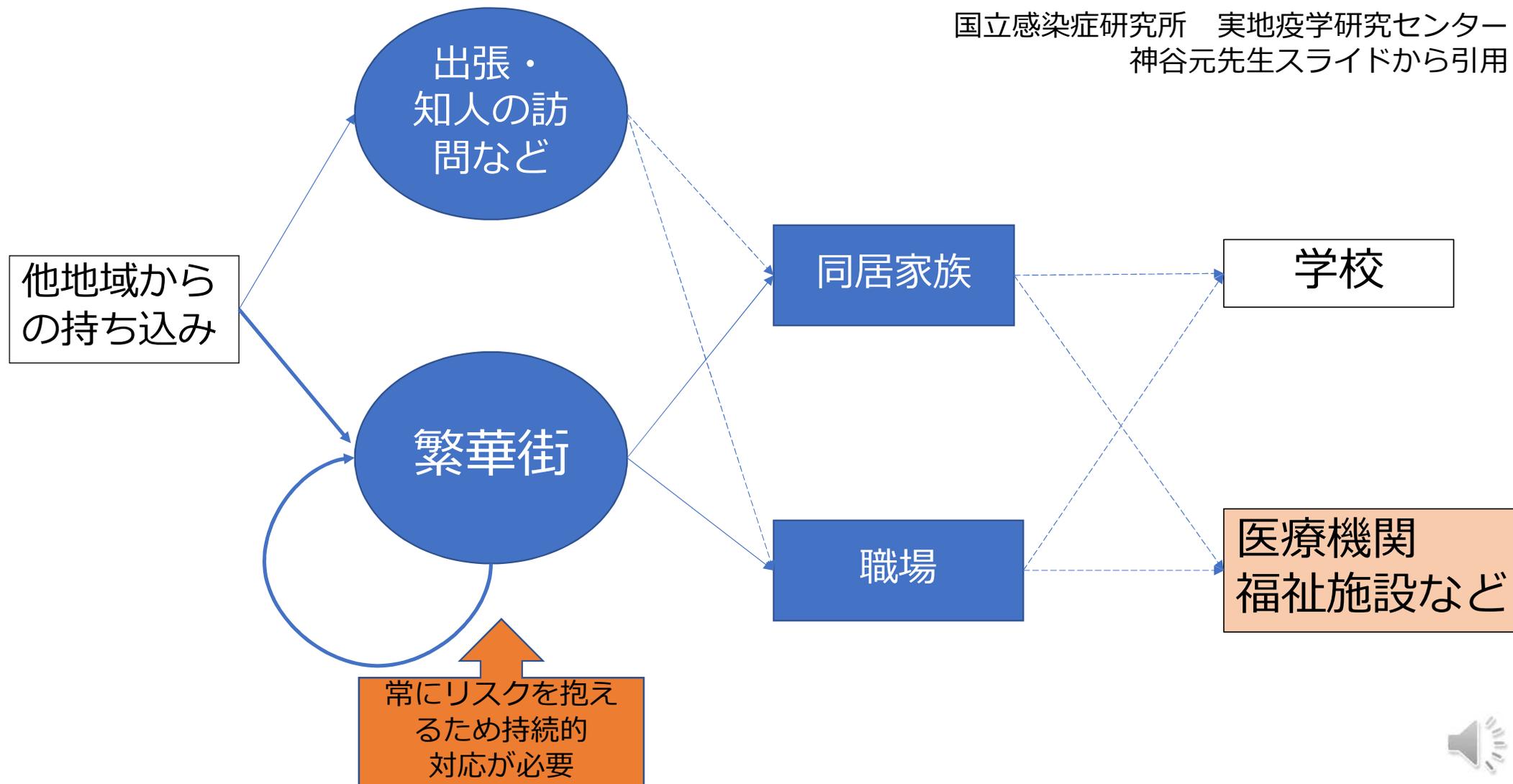


- 手洗い
- よく手がふれる環境の消毒

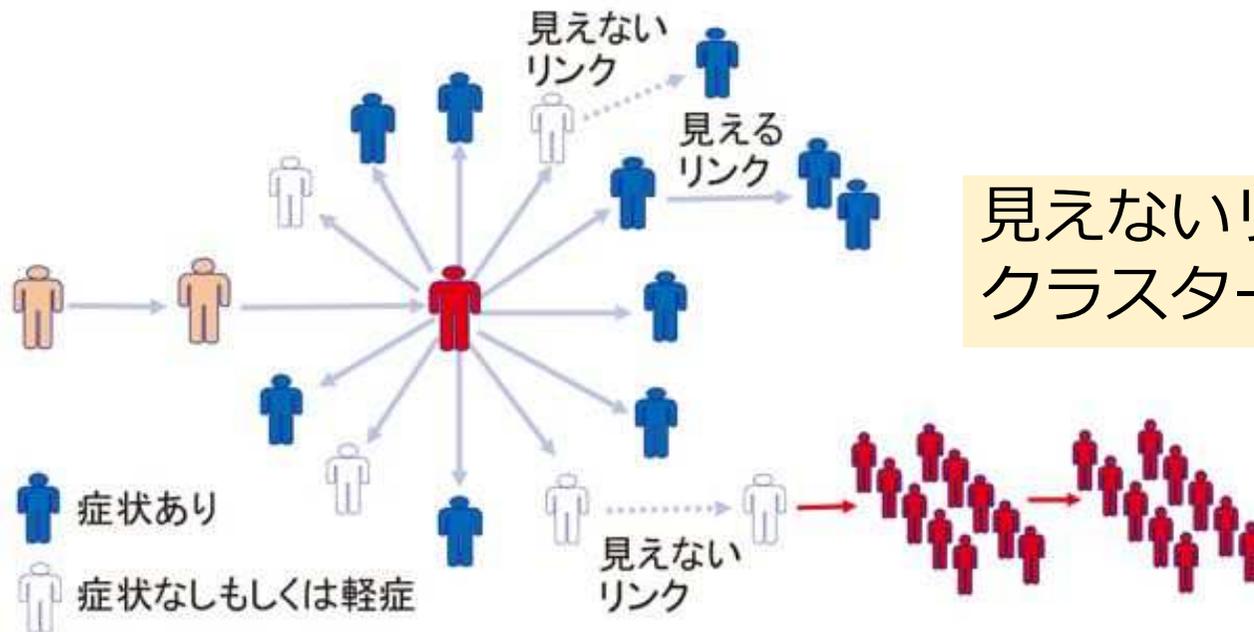


新型コロナウイルスの侵入・拡大パターン

国立感染症研究所 実地疫学研究センター
神谷元先生スライドから引用



- 発症2日前から伝播させるリスク
- 無症状のウイルス保有者も存在

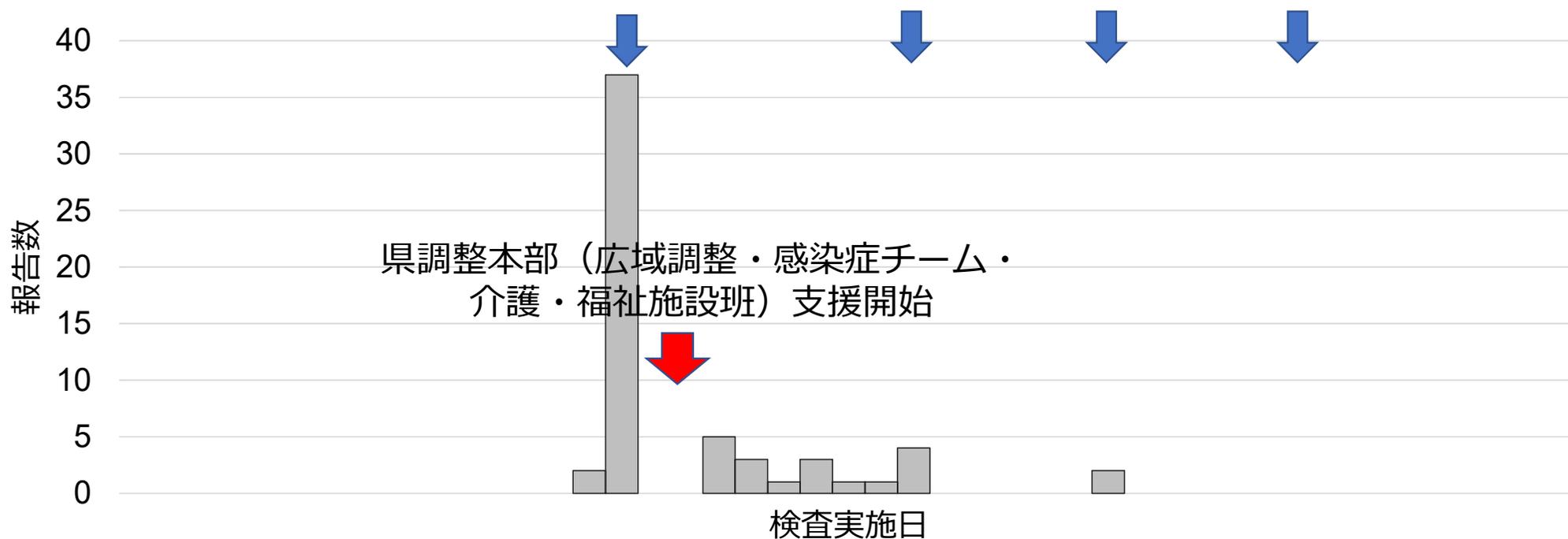


見えないリンクから
クラスターが形成

A) COVID-19クラスター模式図：1人の感染者から多数の患者に感染させるイベントを考えたときに（図中央■）、症状の有無にかかわらずほとんどが他者に感染させない（■の周りの症例）。症状なしもしくは軽症な人から次のクラスターが形成（図右下の■集団）されるには、見えないリンクを介する場合もあり、感染連鎖を把握することは難しい。



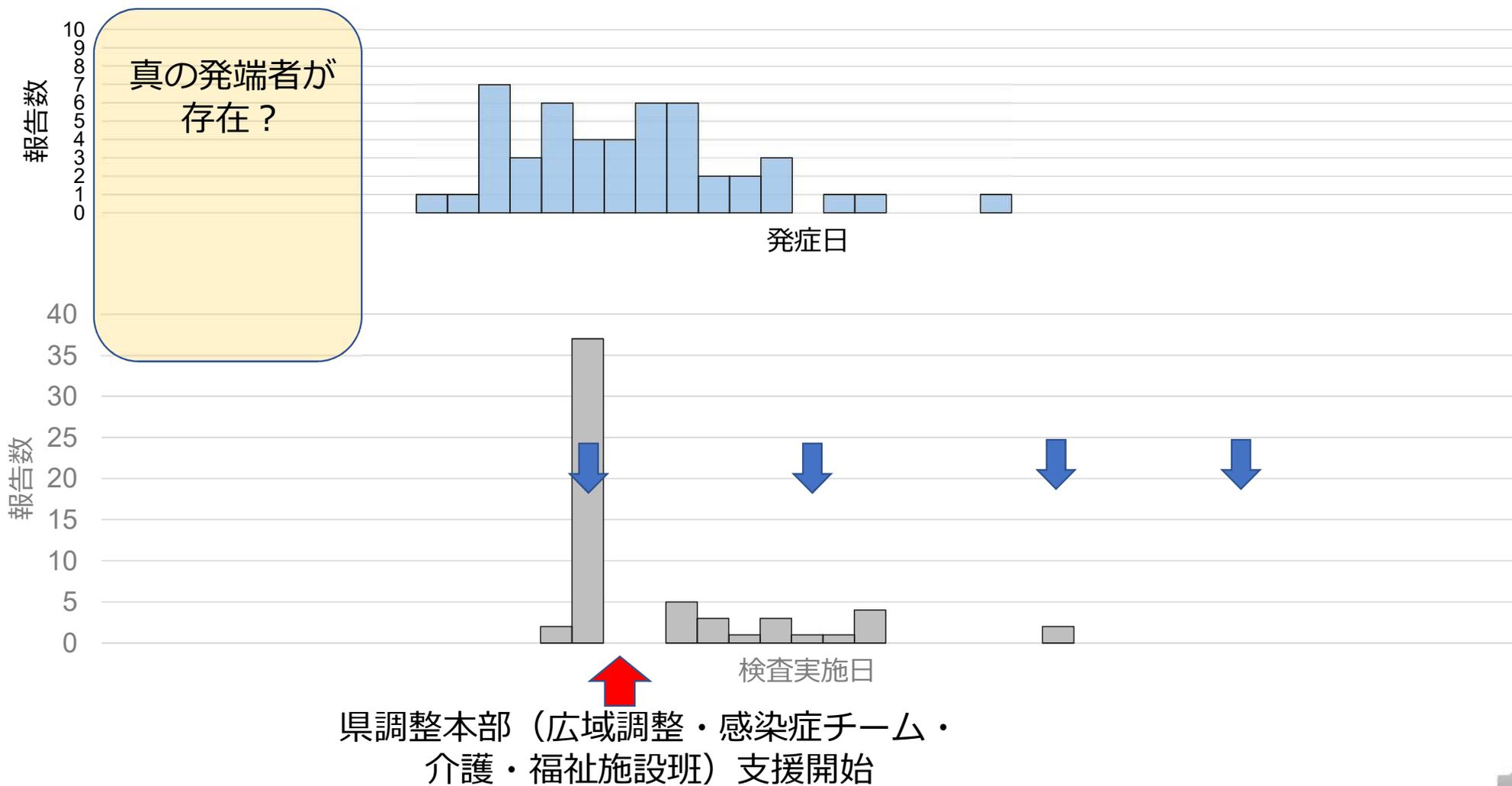
2021年初め 介護施設 クラスタ 検査実施日ベース流行曲線



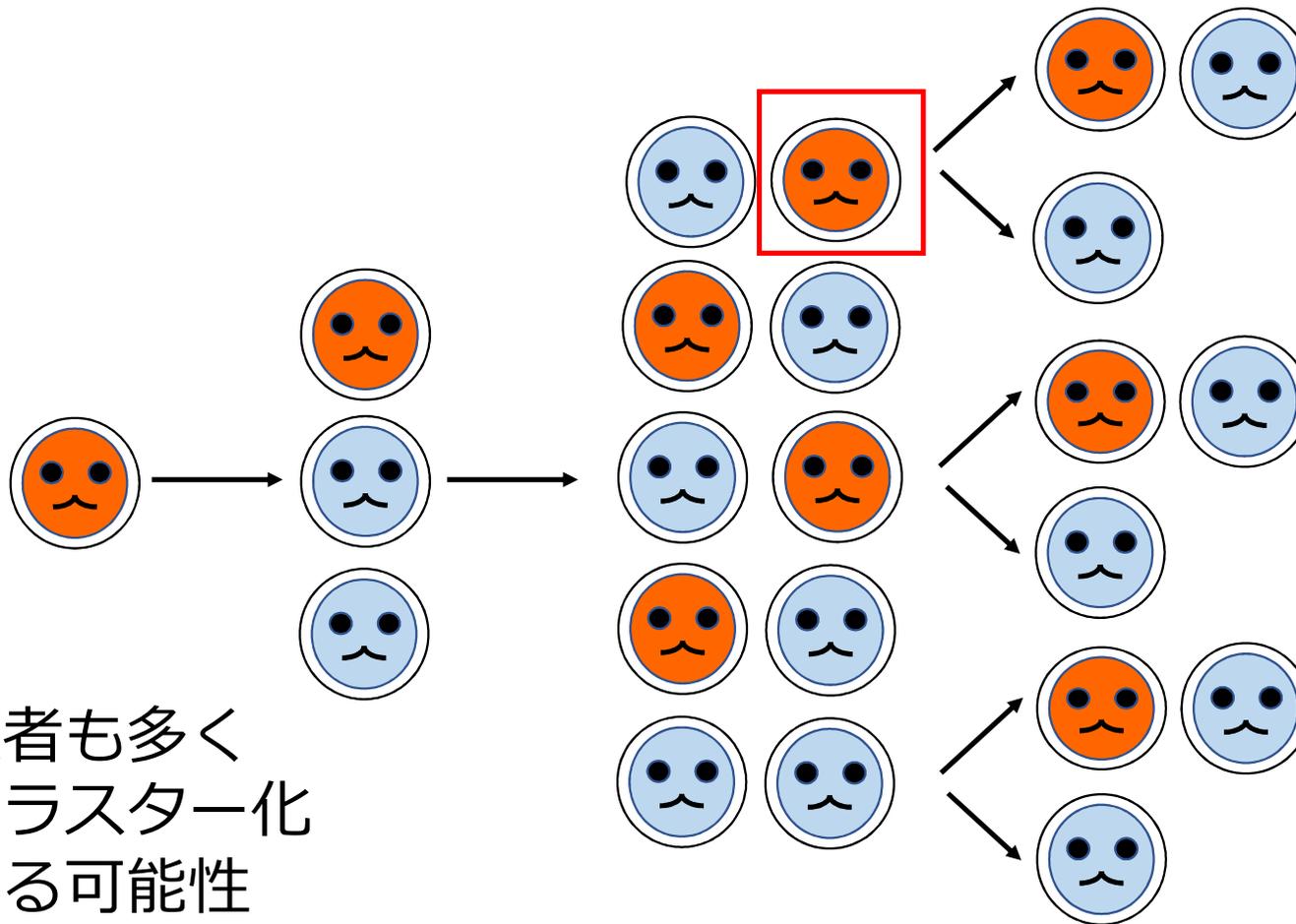
- 職員の1例陽性確認直後、以降約1週間おきに職員・入所者全体のPCR検査を実施
- 有症状者は適宜抗原・PCR検査を実施



発症日ベース流行曲線



新型コロナウイルス感染の探知



オミクロン株

短期間で到達する



国立感染症研究所 実地疫学研究センター
神谷元先生スライドから引用

他地域からの持ち込み

出張・
知人の訪
問など

繁華街

同居家族

職場

学校

医療機関
福祉施設など

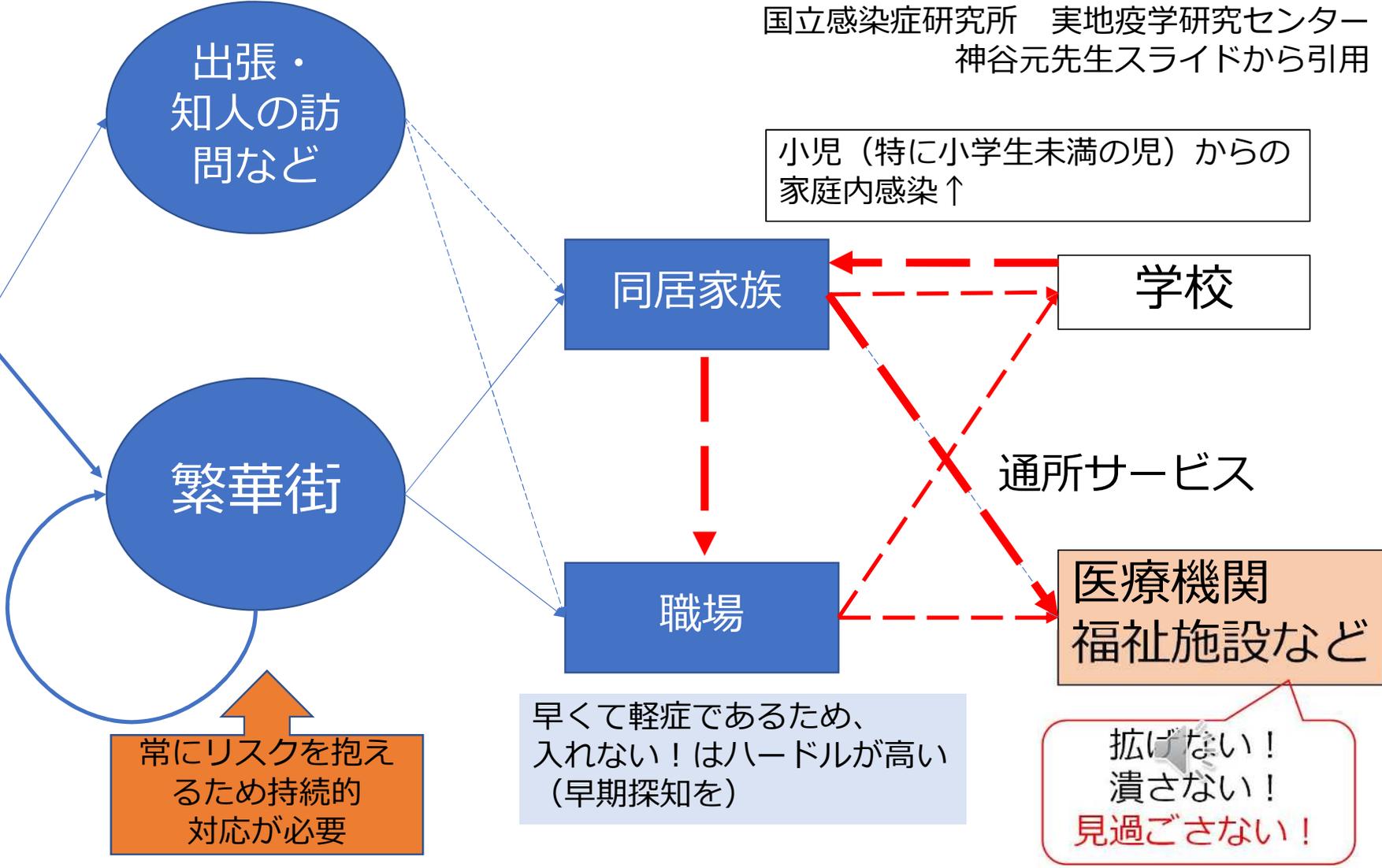
小児（特に小学生未満の児）からの
家庭内感染↑

通所サービス

常にリスクを抱え
るため持続的
対応が必要

早くて軽症であるため、
入れない！はハードルが高い
（早期探知を）

拡げない！
潰さない！
見過ごさない！



院内・施設内クラスター対応に必要な3要素+α

3要素

感染管理

拡げない！

「ゾーニングの確立」

- 広く(濃厚)接触者をリストアップし、今後の発生に備える
- 職員の確実な感染対策の実施
- 感染拡大の防止のための環境整備
(消毒・廃棄物管理など含む)

疫学調査

「クラスターの全体像の把握」

- クラスター拡大/収束のリスクアセスメント

機能維持

「災害対応に準じた対策本部の設置」

- さまざまなタスク (院内外情報共有・診療対応含む)
- 感染者を重症化させない (早い治療)

潰さない！
見過ごさない！

+
アルファ

**施設内の指揮命令系統の確立
+ 支援を受ける体制づくり**



高齢者施設等における感染者発生対応マニュアル

- ③ 標準予防策を再確認しましょう。
- ① 必要な个人防护具が揃っているか、適切な手順で着脱できるか確認しましょう。
- ② 必要な資材（ゴミ箱（陽性者の廃棄物の処理方法の確認）・消毒液・検査キット）を確認しましょう。



- ③ 陽性者を隔離しましょう。
- ④ 陽性者、濃厚接触者のリストアップをしましょう。
- ⑤ 施設内でのゾーニング（区画分け）を考えましょう。



疫学評価と組織運営

- ⑥ 連携医療機関、保健所、市町村・県の福祉部局へ報告・相談しましょう。
- ⑦ 施設管理者の下、対策本部を設置して業務の役割分担をしましょう。
- ⑧ 施設の運営を検討し、職員全体で共有しましょう。

施設における感染対策
の基本と準備

初動における感染対策の強化



連携医療機関，保健所，市町村・県の福祉部局へ報告・相談しましょう。



連携医療機関への報告・相談

- 連携医療機関とは

施設内でコロナ陽性者が確認された場合に、医師・看護師の往診・派遣を要請できる医療機関

(嘱託医や当該施設の医師がコロナ治療に対応できる場合も含む)

- 連携医療機関へ伝えること

- ✓ 陽性者が発生したこと
- ✓ 施設内の陽性者数とその方々の症状（健康の状態や変化の有無）
- ✓ 抗原検査のキット数
- ✓ ワクチン接種歴（すぐ提示できるように接種簿などを作っておく）



- 連携医療機関に確認すること
 - ✓ 検査・治療対応がどこまで可能か。
 - ✓ 治療薬（経口抗ウイルス薬等）の対応医療機関として登録しているか。



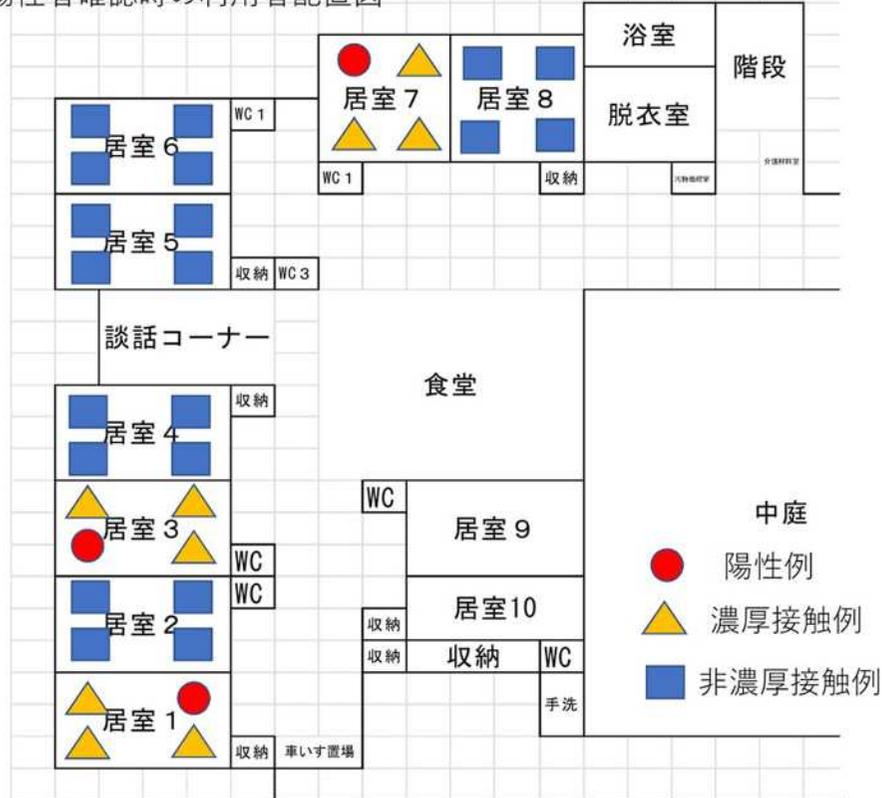
保健所・市町村・県の福祉部局への報告・相談

- 伝えること
 - ✓ 陽性者が発生したこと
 - ✓ 連携医療機関に指示されたこと（往診予定，治療実施の予定など）



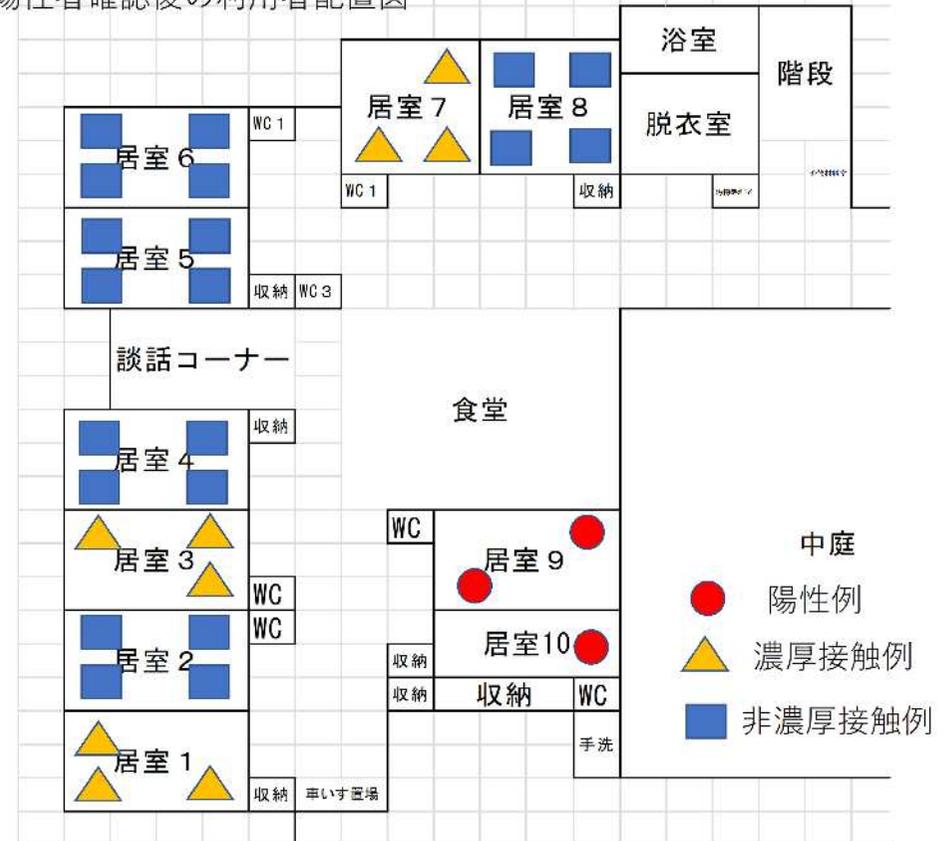
患者配置・ゾーニングの情報共有

陽性者確認時の利用者配置図



どのようにして発生したかを考える
一つの情報

陽性者確認後の利用者配置図



現在の対策実施状況を評価する
一つの情報



陽性者リスト（ラインリスト）

番号	氏名	年齢	性別	職員：部署 患者・利用者 ：フロア(部屋番号)	職種 (職員の場合)	検査検体 採取日	検査 判明日	検査方法	症状	発症日	隔離解除日	基礎疾患	ワクチン 接種回数	最終ワクチン 接種時期	肺炎	酸素投与	酸素投与量 (L/分)	重症化時 侵襲処置 希望
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		

- 発生状況を評価する
- 重症となりやすい（入院が必要）な方を共有する



相談先を事前に決めておきましょう

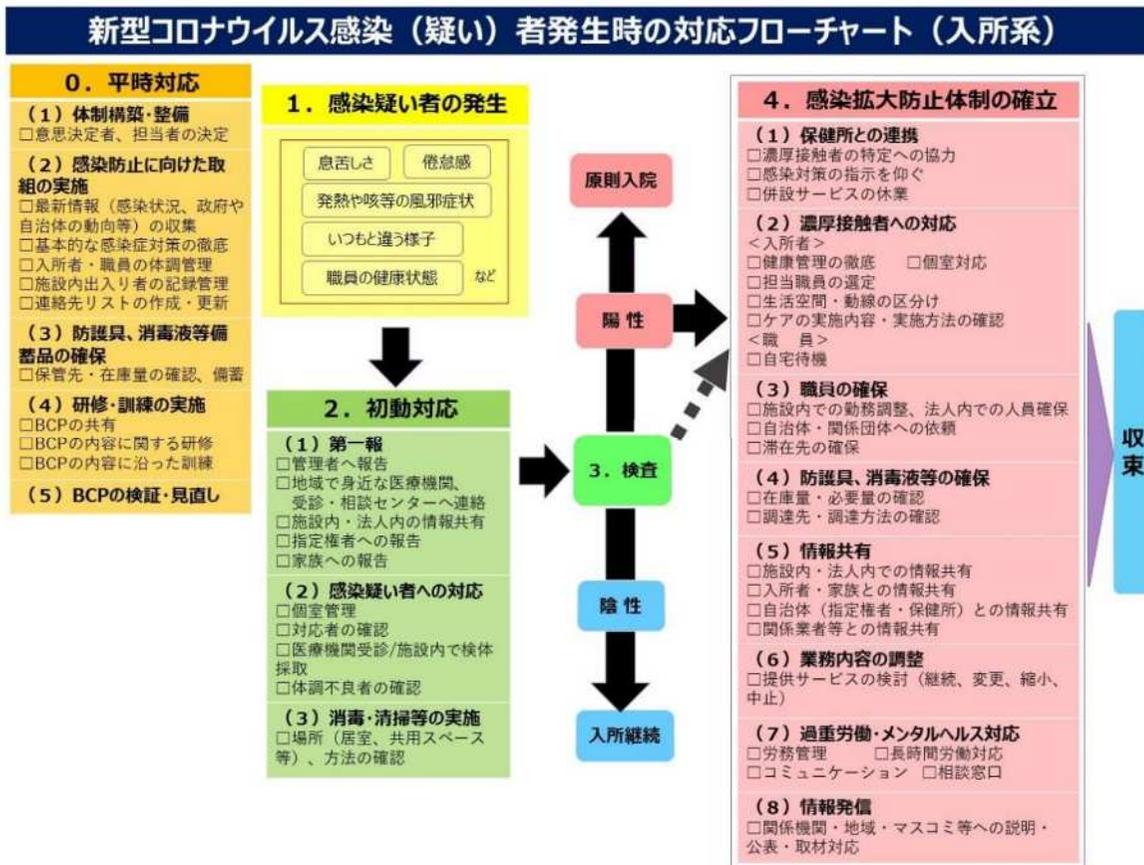
相談内容	連絡先
陽性が判明した場合の連絡先	発生届を管轄の〇〇〇保健所（電話： ）に報告
感染対策の相談先	関連医療機関（〇〇〇〇病院）（電話： ） 近隣の感染管理認定看護師（〇〇〇看護師）（電話： ） 〇〇〇保健所（電話： ）
陽性者の状態が悪化した場合の連絡先	往診可能な医療機関（〇〇〇病院）（電話： ） 管轄の〇〇〇保健所（電話： ）
治療に関する相談先	関連医療機関 （〇〇〇〇病院）（電話： ） ※必要な場合は治療薬が準備できる体制を構築しておきましょう。 （どこに相談し、どのように受けとるか等） 管轄の〇〇〇保健所（電話： ）
陽性者が死亡した場合の相談先	〇〇〇〇（電話： ）
人材不足に関する相談先	県庁介護保険室（電話： ） 〇〇〇〇（電話： ）
物資不足に関する相談先	〇〇〇〇（電話： ）
ワクチン接種に関する相談先	〇〇〇〇（電話： ）



施設管理者の下
対策本部を設置して
業務の役割分担をしましょう



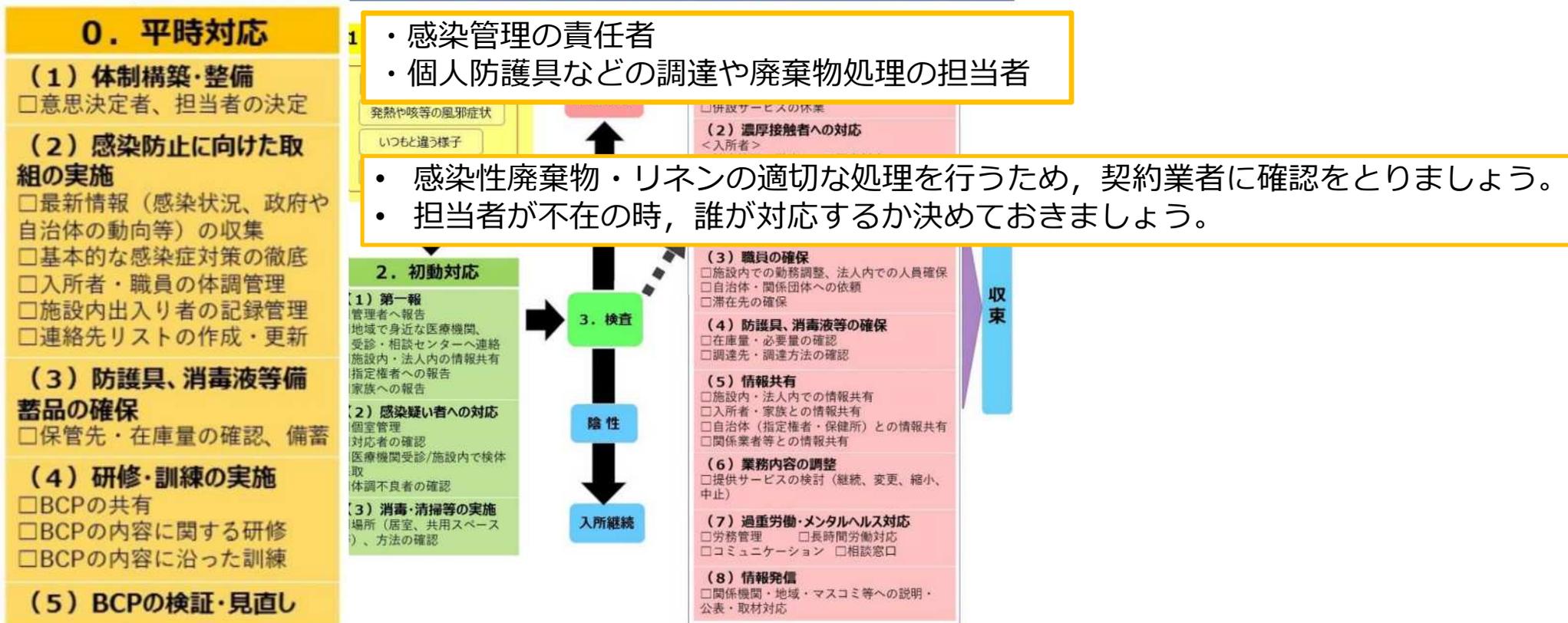
各業務の担当を決めておき，関係者の連絡先，連絡フローの整理を行っておきましょう



介護施設・事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドラインより抜粋

各業務の担当を決めておき，関係者の連絡先，連絡フローの整理を行っておきましょう

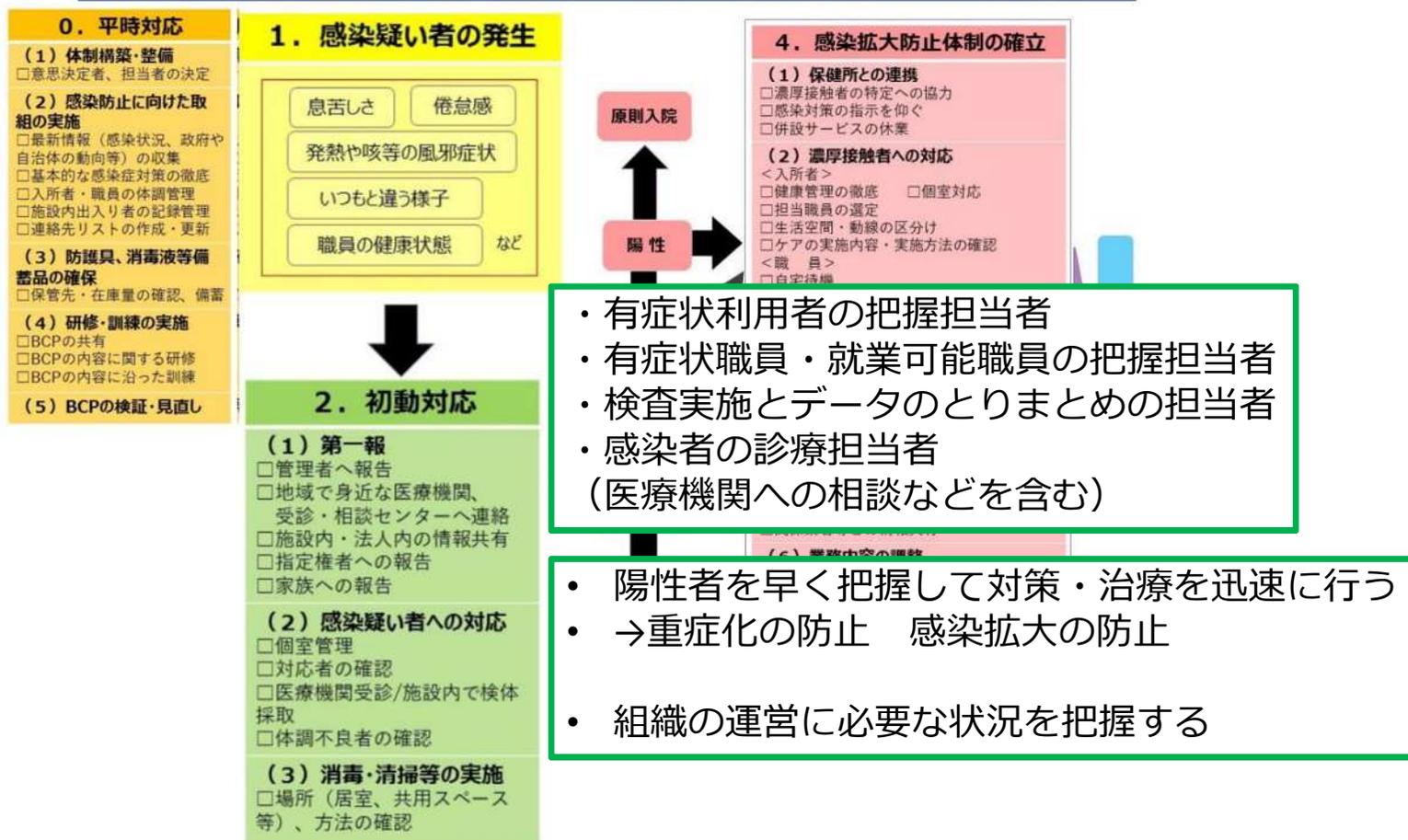
新型コロナウイルス感染（疑い）者発生時の対応フローチャート（入所系）



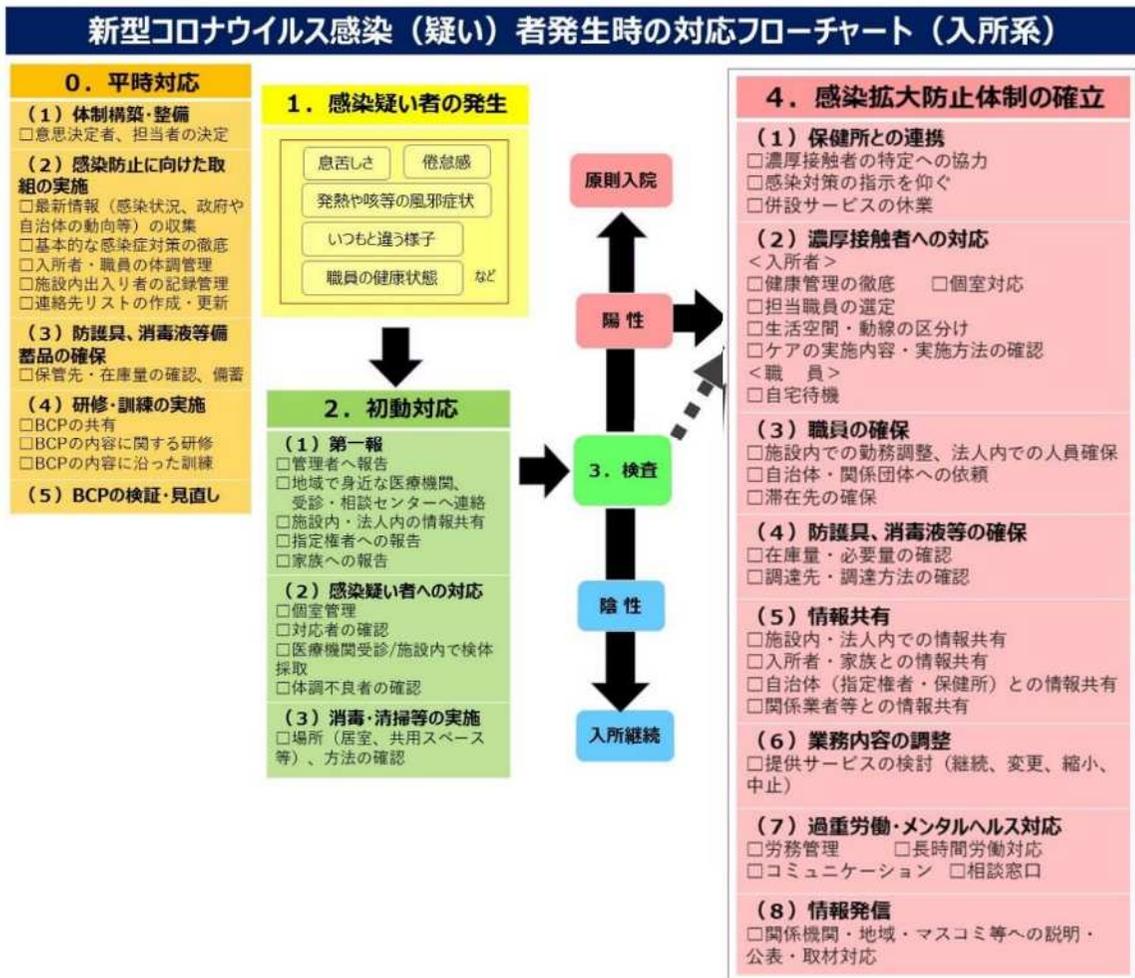
介護施設・事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドラインより抜粋

各業務の担当を決めておき，関係者の連絡先，連絡フローの整理を行っておきましょう

新型コロナウイルス感染（疑い）者発生時の対応フローチャート（入所系）



各業務の担当を決めておき、関係者の連絡先、連絡フローの整理を行っておきましょう

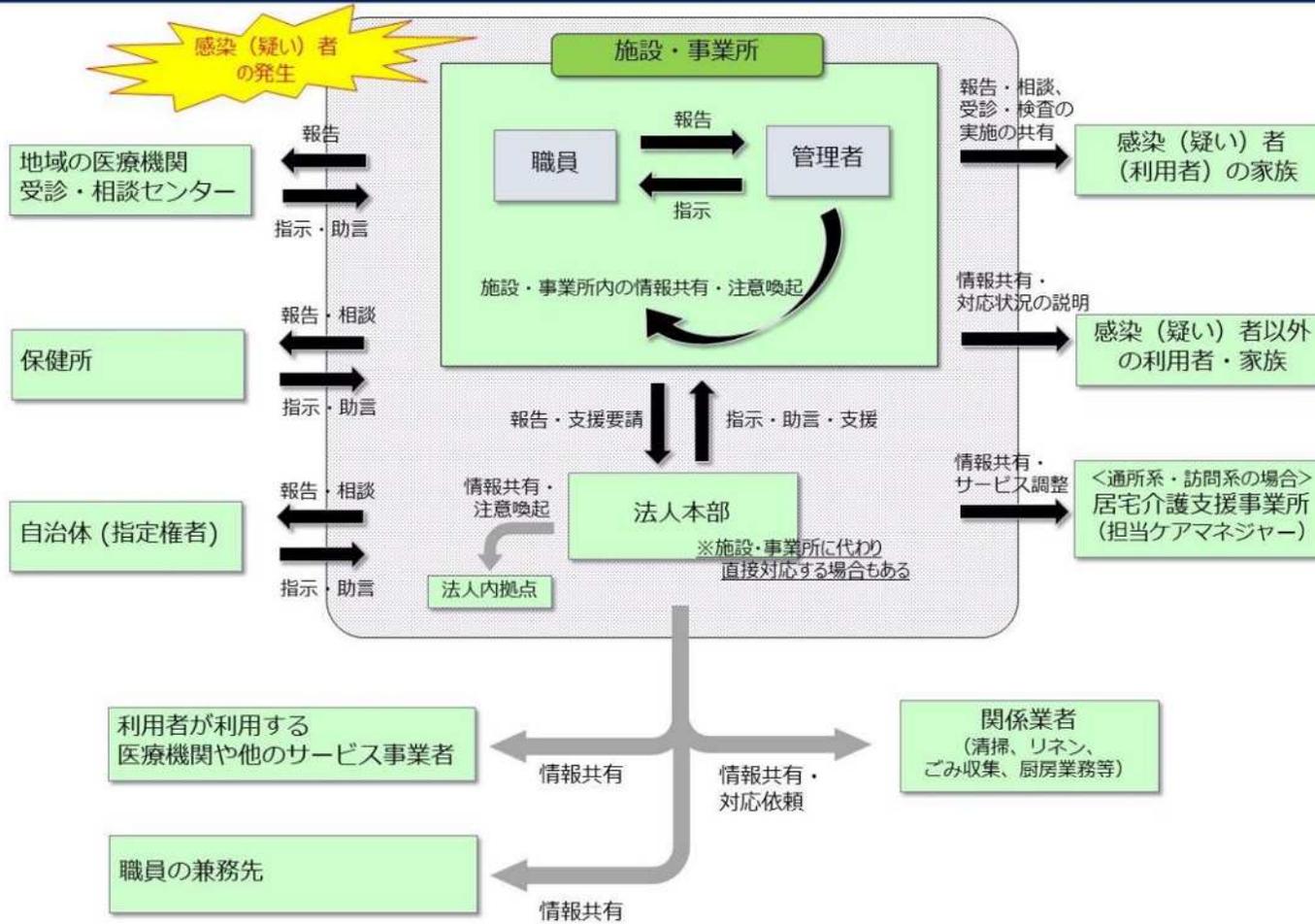


- ・ 保健所・外部への連絡担当者（ホームページ等での公表含む）
- ・ 外部からの問い合わせ
- ・ 感染者データのとりまとめ担当者
- ・ 職員への情報発信担当者
- ・ 職員のメンタルケア責任者
- ・ 経時記録担当者
- ・ 感染者転院時の搬送担当者

- ・ 外部からの協力ももらいながら、組織の運営をおこなう
 - 人的・物的支援
 - 感染管理に関する助言
 - 疫学評価
- ・ 職員・患者のケアを行う
- ・ 継続可能な感染拡大防止策を行う



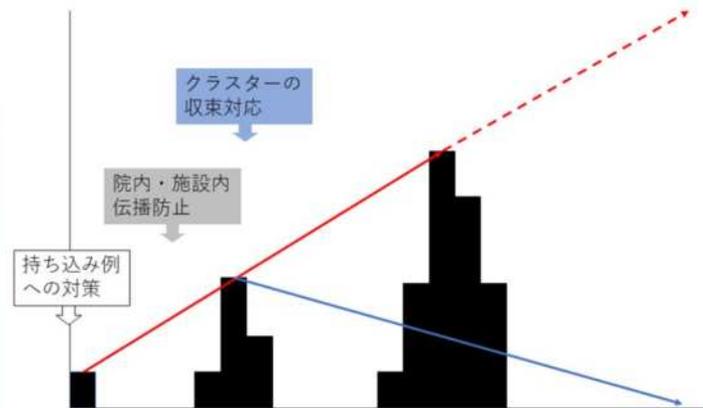
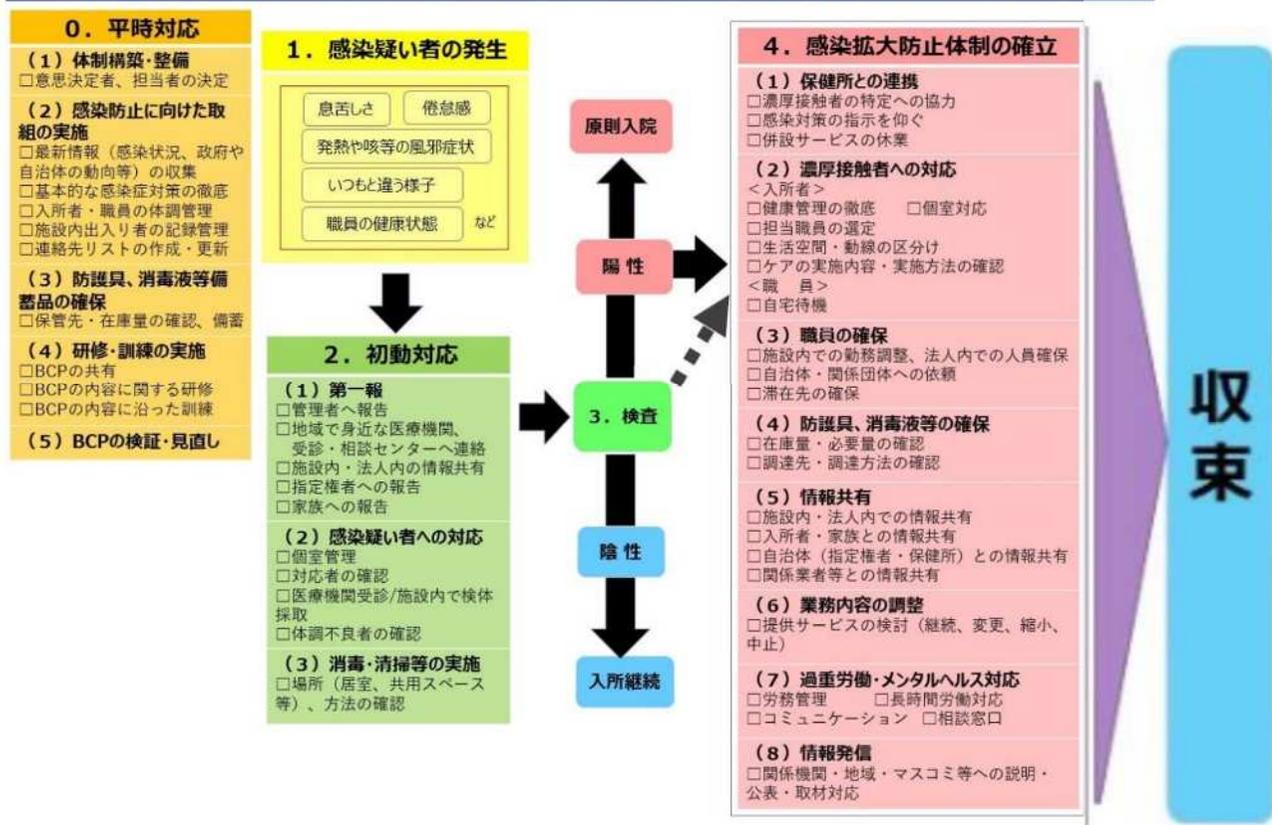
新型コロナウイルス感染（疑い）者発生時の報告・情報共有先



介護施設・事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドラインより抜粋

各業務の担当を決めておき，関係者の連絡先，連絡フローの整理を行っておきましょう

新型コロナウイルス感染（疑い）者発生時の対応フローチャート（入所系）



介護施設・事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドラインより抜粋

施設の運営を検討し
職員全体で共有しましょう



- 業務の重要度に応じて分類し，感染者，濃厚接触者の人数，出勤可能な職員数の動向等を踏まえ，提供可能なサービス，ケアの優先順位を検討し，業務の絞り込みや業務手順の変更が必要か検討しましょう

(参考：優先業務の考え方の例)

職員数	出勤率 30%	出勤率 50%	出勤率 70%	出勤率 90%
優先業務の基準	生命を守るため必要最低限	食事、排泄中心、その他は減少・休止	ほぼ通常、一部減少・休止	ほぼ通常
食事の回数	減少	減少	朝・昼・夕	ほぼ通常
食事介助	必要な方に介助	必要な方に介助	必要な方に介助	ほぼ通常
排泄介助	必要な方に介助	必要な方に介助	必要な方に介助	ほぼ通常
入浴介助	清拭	一部清拭	一部清拭	ほぼ通常
機能訓練等	休止	必要最低限	必要最低限	ほぼ通常
医療的ケア	必要に応じて	必要に応じて	必要に応じて	ほぼ通常
洗濯	使い捨て対応	必要最低限	必要最低限	ほぼ通常
シーツ交換	汚れた場合	順次、部分的に交換	順次、部分的に交換	ほぼ通常

(注) 濃厚接触者に対しては、感染防止に留意した上でケア等を実施。

介護施設・事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドラインより抜粋



(参考：優先業務の考え方の例)

職員数	出勤率 30%	出勤率 50%	出勤率 70%	出勤率 90%
優先業務の基準	生命を守るため必要最低限	食事、排泄中心、その他は減少・休止	ほぼ通常、一部減少・休止	ほぼ通常
食事の回数	減少	減少	朝・昼・夕	ほぼ通常
食事介助	必要な方に介助	必要な方に介助	必要な方に介助	ほぼ通常
排泄介助	必要な方に介助	必要な方に介助	必要な方に介助	ほぼ通常
入浴介助	清拭	一部清拭	一部清拭	ほぼ通常
機能訓練等	休止	必要最低限	必要最低限	ほぼ通常
医療的ケア	必要に応じて	必要に応じて	必要に応じて	ほぼ通常
洗濯	使い捨て対応	必要最低限	必要最低限	ほぼ通常
シーツ交換	汚れた場合	順次、部分的に交換	順次、部分的に交換	ほぼ通常

(注) 濃厚接触者に対しては、感染防止に留意した上でケア等を実施。

介護施設・事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドラインより抜粋

・残った職員でどのようなシフト体制を組むか検討しましょう。

※職員が不足する場合は、まずは同一法人からの支援を検討し、それでも不足する場合は県や関係団体等に速やかに連絡し、支援を要請してください。



- 職員だけでなく、新規利用者等（併設する事業所も含む）、面会者、ボランティア、実習生等が、感染症の病原体を外部から持ち込まない、持ち出さないような対策ができているか、今一度確認しましょう。
- 不足している个人防护具等をどのように補充していくか検討しましょう。

県では、个人防护具（マスク、ガウン、プラスチック手袋等）を備蓄していますので、急を要する場合はご相談ください。

急に多くの職員が个人防护具を使用し始めると、備蓄の減るスピードは速くなります。備蓄の残量を誰がどう把握するかも事前に決めておきましょう。



備蓄品リスト

感染症対応_様式2_備蓄品リスト

備蓄品の管理をするため記入する。(※必要に応じてシートをコピーして使用。)

No.	品目	備蓄量		必要量	過不足量	単位	保管場所	備考
		目安	備蓄量					
1	マスク (不織布製マスク)							
2	サージカルマスク							
3	体温計 (非接触型体温計)							
4	ゴム手袋 (使い捨て)							
5	フェイスシールド							
6	ゴーグル							
7	使い捨て袖付きエプロン							
8	ガウン							
9	キャップ							
10	次亜塩素酸ナトリウム液							
11	消毒用アルコール							
12	ガーゼ・コットン							
13	トイレトペーパー							
14	ティッシュペーパー							
15	保温ティッシュ							
16	石鹸・液体せっけん							
17	おむつ							
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								



- 定期的な対策会議やミーティングを行い，情報共有をしましょう。
日報を作成すると施設内外の情報共有に有用です。

日報の1例

(施設名)の状況について

令和 年 月 日時点

1. 利用者・職員の内訳

	利用者	職員
陽性(施設療養中)		
陽性(解除後)		
濃厚接触例		
非濃厚接触例		
合計		

2. 陽性利用者の現状

対応	人数	内訳	人数	備考
医療機関入院		転院先 病院		
		病院		
		病院		
		再入院決定者 計		
		月 日		
		月 日		
入居中		酸素投与必要者		
		軽症・無症状例		
死亡例				
合計				

3. 職員の現状

職種	人数	復帰(予定)日				
看護職						
介護職						
合計						

4. 陽性者以外の有症状者(時時点)

	人数
職員	
利用者	
合計	

5. PCR・抗原検査実施予定者(時時点)

	PCR	抗原検査
職員		
利用者		
合計		

6. PPE・抗原キットの在庫状況について

表記(十分充足・1週間程度確保・2~3日程度・緊急に支援が必要)

サージカマスク	N95	フェイスシールド	ガウン	手袋	手指消毒薬	抗原キット

7. 業務継続の状況について(職種ごとの不足状況、見通し等)

2022年1月 鹿児島県新型コロナウイルス感染症調整本部感染症チーム作成(一部改変)

施設で何が起きているかを全員で共有するため、メールだけでなく、グループウェア・情報共有アプリなどを活用しましょう。



まとめ

- 連携医療機関・保健所・市町村・県の福祉部局へ報告・相談
 - 患者さんを重症化させないための早期治療
 - 助言・支援の下で感染管理や検査体制を強化する
 - 人的・物的不足に対する対応
- 対策本部を設置し業務を役割分担
- 施設の運営を検討し、職員全体で共有
 - 施設一丸となった対応が必要

